

複数言語を継続して学ぶために

異文化コミュニケーション学部では、複数の言語、複数の文化について学び、複眼的な思考を身につけることを目標にしています。大学の4年間、英語、言語B、さらには第3、第4の言語に挑戦するなど、ぜひ複数の言語を継続的に学びましょう。

以下では、言語を継続的に学習するための情報の概要を説明します。全学共通科目(言語関連科目)と、学部専門科目(基盤科目)を組み合わせ、4年間の学習の計画を立てましょう。

【言語B学習の仕組み】

	1年次		2~4年次	
全学共通科目 言語系科目	自由科目			
	【留学準備領域】 「海外言語文化研修」(夏期・春期休暇中※言語により時期が異なる) ～語総合○(週1回)			
	必修科目		【プロジェクト領域】～語演習○、入門～語	
	～語1 ～語A (週2回)	～語2 ～語B (週2回)	【アカデミック領域】アカデミック～語○、～語CLILO(年度によって開講言語が異なるのでよく確認すること) 【キャリア領域】キャリア～語○、～語トレーニング○ (各週1回)	
学部専門科目 (基盤科目)	CS1 (週1回)	CS2 (週1回)	CS3B-R (週2回)	
	○○語 Lecture/ Lecture in XXX(週1回)			
			「諸言語特別演習」(2026年度例:ビルマ語、トルコ語) 「海外留学研修」(言語B Language Program など)	

☆全学共通科目の自由科目はどの順番でも履修可能です。

言語Bを入学前に学習している場合

・【全学共通科目】

一定のスコアを持ち、入学後に審査を受けることで、必修科目「～語1/A」、「～語2/B」の単位が認定されます。言語ごとの条件は履修要項またはR Guideを確認しましょう。

★申請時期は4月初めです。

・【学部専門科目】

学習歴、一定のスコアなどをもとに、入学時に「CS1」、「CS2」の履修を取り消すことができます。(取り消した場合、その後履修することはできません。)

★申請はオンラインで受け付けます。詳細は履修要項・R Guideを確認しましょう。

全学共通科目(必修科目)単位認定、学部専門科目CS1、2の履修取り消しが行われた場合には、全学共通科目(自由科目)、学部専門科目の「○○語 Lecture/Lecture in XXX」などを履修し、継続して言語運用能力を磨きましょう。

言語 B の言語圏に留学する場合

【留学前】

- ・当該言語の運用能力をなるべく高めて留学に備えましょう。全学共通科目の言語 B 必修「～語 1/A」、「～語 2/B」を未修得の場合、留学は原則認められません。留学が認められても、「～語 1/A」が未修得の場合は、当該言語のランゲージプログラムには参加できません。
- ・留学先で当該言語によるプログラムを履修する場合、2 年次春学期に、学部専門科目（基盤科目）の「CS3B-R」が自動登録されます。
- ・全学共通科目の言語科目（留学準備領域の科目など）を履修しましょう。
- ・自分が履修している言語 B ではないが立教の言語 B の言語圏に留学する場合は、開講されている授業を活用して、初級レベルの言語運用能力を修得しましょう。未修の言語の CS-3BR を履修することはおすすめしません。
- ・一度は検定試験に挑戦し自分のスコアを把握しましょう。

【留学後】

【全学共通科目】

自由科目を継続的に履修し（抽選登録）、言語運用能力をさらに磨きましょう。履修中止・履修取消はできないので、各自、シラバスや R Guide の科目表を確認し、授業のレベル、自分の学習計画をよく考えて履修しましょう。

【学部専門科目】

「〇〇語 Lecture / Lecture in XXX」は当該言語によって開講され、学部の専門に関連するコンテンツを学びます。シラバスによってレベルを確認し、積極的に履修しましょう。

英語圏に留学する場合の言語 B の継続学習

- ・2 年次春学期には「CS3A-R」（英語）が自動登録されますが、基盤科目「CS3B-R」（言語 B）も同学期に履修することができます（科目コード登録）。「CS3B-R」を3, 4年次で履修することも可能です。
- ・全学共通科目を利用して、言語 B の継続履修をぜひ行ってください。
- ・学部専門科目「〇〇語 Lecture / Lecture in XXX」は当該言語によって開講され、学部の専門に関連するコンテンツを学びます。シラバスによってレベルを確認し、積極的に履修しましょう。

もう一つの言語に挑戦しましょう!

・【全学共通科目】

2 年次から、もう一つの言語を言語自由科目として履修可能です（「入門～語」）。ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語、ロシア語・日本手話・ポルトガル語・インドネシア語・タイ語・タガログ語・ベトナム語から選択できます（抽選登録）。

・【学部専門科目】

2 年次から、（自分の言語 B 以外の言語の）CS1、CS2、CS3B-R を基盤科目として履修することが可能です。

・【学部専門科目】

「諸言語特別演習」として、他の外国語を学ぶこともできます。2026 年度はビルマ語、トルコ語が開講されます。

各言語の外部試験情報

各種、言語の検定試験にぜひ積極的に挑戦しましょう。

立教大学には、**各種外国語検定試験の検定料の補助制度**があります。応募は、年2回(9月と2月)です。詳細は大学ホームページの「お知らせ」で案内されますので、確認してください。

【ドイツ語】

ドイツ語技能検定試験(独検): <http://www.dokken.or.jp/>

Goethe-Zertifikat: <https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf.html>

【フランス語】

実用フランス語技能検定試験(仏検): <http://apefdapf.org/>

DELF/DALF: <https://www.japon.campusfrance.org/ja/le-delfdalf>

TCF: <https://www.japon.campusfrance.org/ja/le-tcf>

【スペイン語】

スペイン語技能検定: <https://casa-esp.com/>

DELE: https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/information_diplomas_spanish.htm

【中国語】

中国語技能検定試験: <https://www.chuken.org/>

HSK: <http://www.hskj.jp/>

【朝鮮語】

「ハングル」能力検定試験: <https://www.hangul.or.jp/>

韓国語能力試験: <https://www.kref.or.jp/examination>

【ロシア語】

ロシア語能力検定試験: <https://www.tokyorus.ac.jp/kentei/>

グローバル教養副専攻履修のすすめ

言語科目、全学共通総合科目を一定数履修し、また海外体験(当該言語圏に限らない)を履修することで、グローバル教養副専攻を修了できます。詳細は、履修要項およびグローバル教養副専攻ホームページを参照してください。